

発泡酒の酒税減税に 関する要望書

発泡酒の税制を 考える会

ホームページ <http://www.happoshu.com>

会 長 荒 蒔 康 一 郎

会 員 会 社 キリンビール株式会社

サッポロビール株式会社

サントリー株式会社

アサヒビール株式会社

オリオンビール株式会社

3缶飲んだら



1缶税金。

安いと思っていた発泡酒も35.5%^{*}が税金です。

※大手CVSチェーンにおける350ml缶の代表的な小売価格(152円)に定める酒税及び消費税の比率。

高いと思う、発泡酒の税金。

発泡酒の税制を考える会

飲酒は20歳を過ぎてから。

私たちは、発泡酒酒税の減税を要望します

発泡酒は、誕生以来、今日に至るまで製造各社のたゆまぬ企業努力により、品質も向上し、庶民の酒として広く愛飲されていますが、発泡酒の酒税は他の酒類に比べ著しく高率・高額であり、極めて不公平です。

私どもとしては、発泡酒の酒税の大幅な減税を強く要望します。

平成18年度の税制改正にあたりましては、是非とも私たちの要望が実現いたしますよう、切にお願い申し上げます。

1

発泡酒の酒税は、国内の他の酒類と比較して極めて高く、不公平なものとなっています。

2

発泡酒は平成15年の増税により、これまでの伸長傾向から一転してダウントレンドとなりました。この増税は発泡酒愛飲者に大きな不利益を与える結果となったことから、消費者の多くが減税を要望しています。また製造各社の経営にも甚大な影響を与えることとなっています。

3

発泡酒は主として家庭で愛飲され、またビールでは難しい多様な商品の開発により、独立したジャンルとして消費者の支持を受けています。

醸造酒である発泡酒の酒税を蒸留酒以下に減税するよう強く要望します。

I 国内の他の酒類との比較

発泡酒の酒税は、国内の他の酒類と比較して極めて高く、不公平なものとなっています。

1 平成15年の増税によって他の酒類との格差はさらに拡大する結果となっています。
(参照:図1)

2 アルコール1度1リットル当りの酒税額を比較すると、醸造酒である発泡酒は蒸留酒の2倍以上と群を抜いて高額です。
(参照:図1)

3 350ml当りの酒税額を比較しても、発泡酒の酒税額は約47円であり、やはり他の低アルコール酒類に比べて高額です。
(参照:図2・3)

つきましては、醸造酒である発泡酒の酒税を大幅に引き下げることにより、蒸留酒以下にしたいだけが必要です。

図1 アルコール分1度1リットル当りの酒税額比較

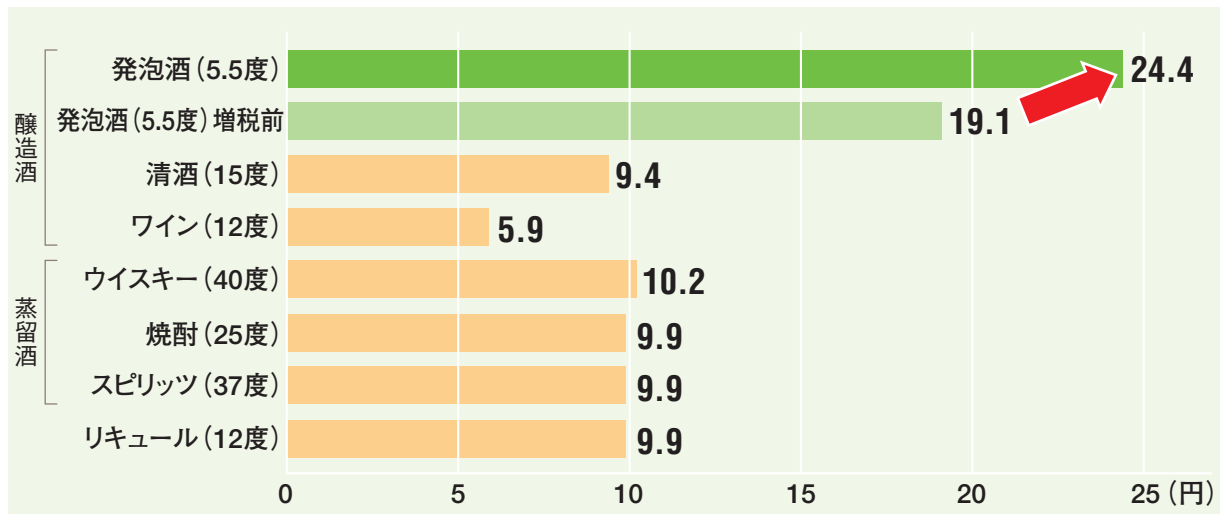


図2 350ml当りの酒税比較

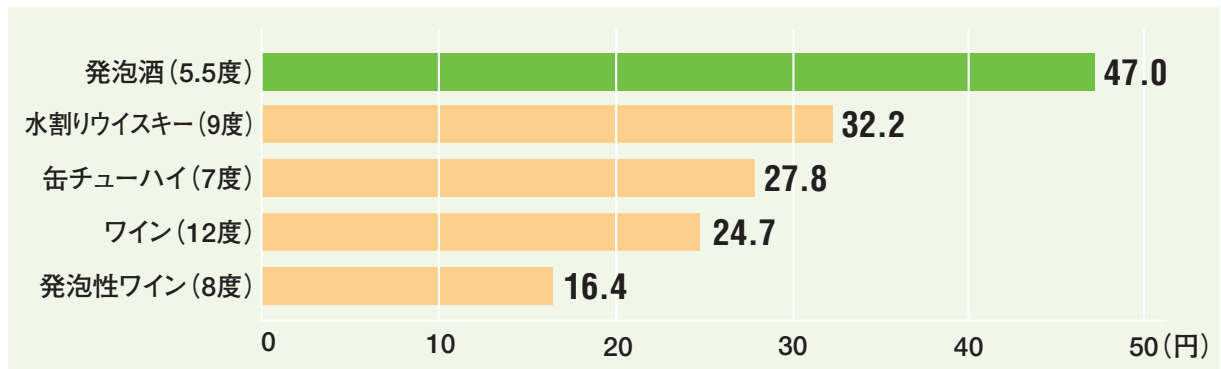
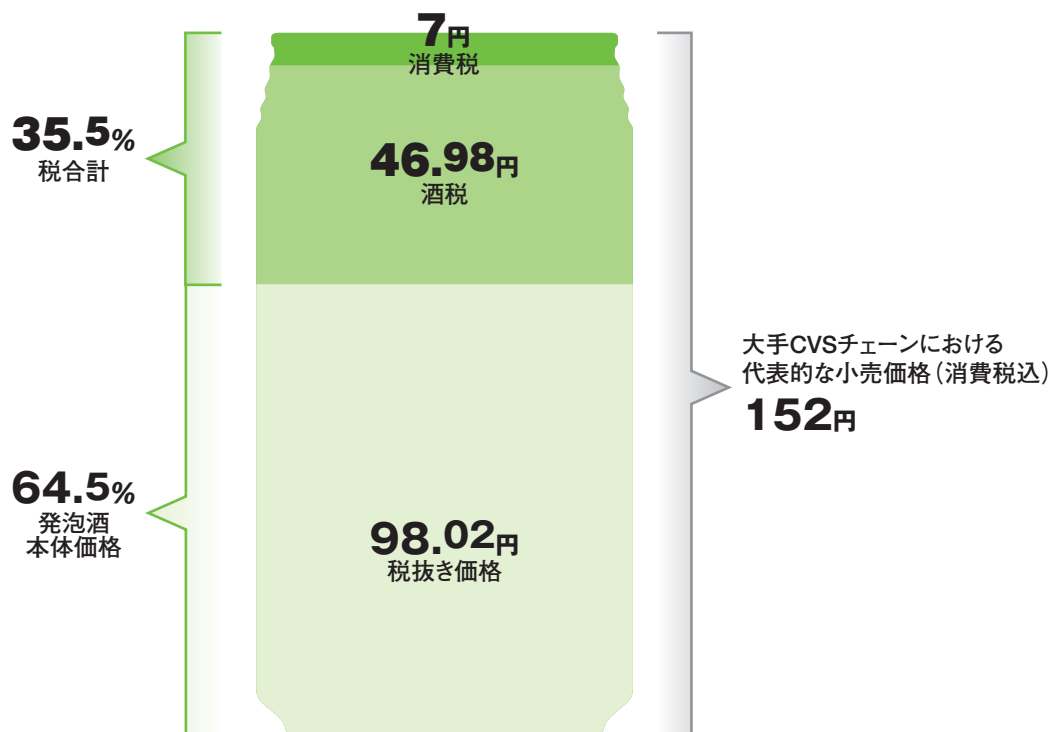


図3 発泡酒350ml缶当りの税負担



II

平成15年の増税の影響

発泡酒は平成15年の増税により、これまでの伸長傾向から一転してダウントレンドとなりました。この増税は発泡酒愛飲者に大きな不利益を与える結果となったことから、消費者の多くが減税を要望しています。また製造各社の経営にも甚大な影響を与えることとなっています。

発泡酒は、平成6年の発売以来、8年間連続して成長市場でしたが、平成15年5月実施の増税により一転してダウントレンドとなりました。

その結果、飲用量減・売上減につながり、製造各社に大きな打撃をもたらしています。

(参照:図4・5・6)

図4 増税実施前後の販売数量前年比比較

「発泡酒の税制を考える会」調べ

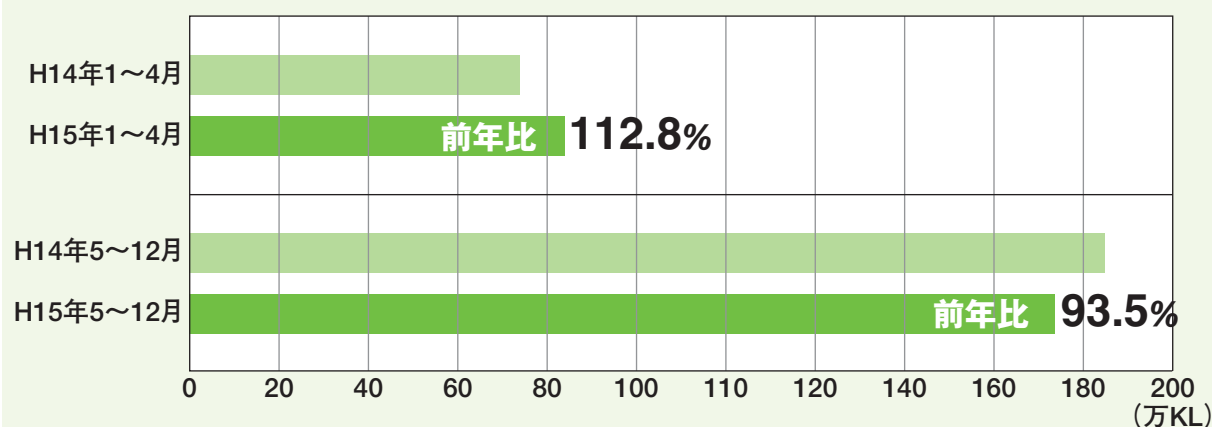


図5 発泡酒課税移出数量の推移

「発泡酒の税制を考える会」調べ

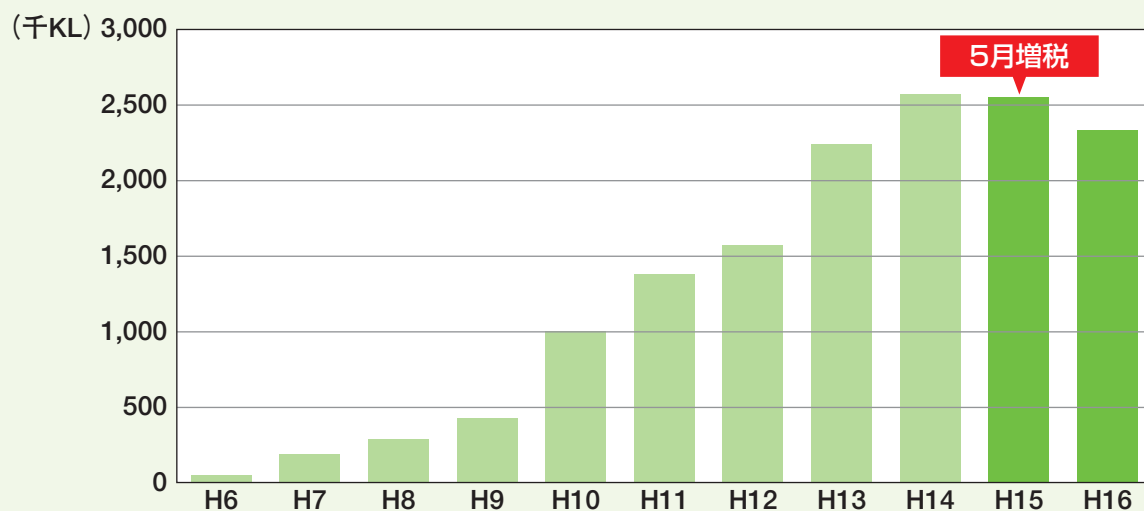
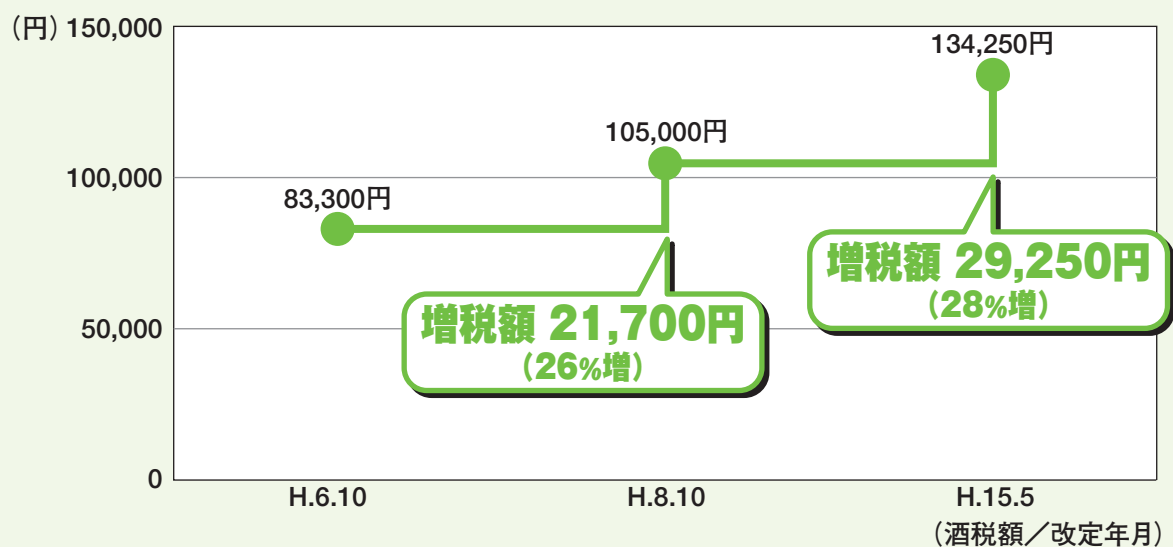


図6 発泡酒の税率の推移（麦芽比率25%未満、1kℓ当り）



2

発泡酒が消費者に受け入れられている主な理由は、「財布の事情に合ったお酒だから」「味と価格のバランスがよいから」「メーカーの開発者が味・品質を進歩させてきたから」です。

平成15年の増税を受け、消費者の7割近い方から減税の要望が出ており、“庶民のお酒”である発泡酒の愛飲者が重税を感じ、かつ大きな不利益を被っていることが裏付けられます。

(参照:図7・8)

つきましては、発泡酒の酒税を大幅に減税して、消費者の負担を軽減していただくことが必要です。

図7 発泡酒が消費者に受け入れられている理由(上位4位)「発泡酒の税制を考える会」調べ

(n=1,295 2005年7月) (複数回答)

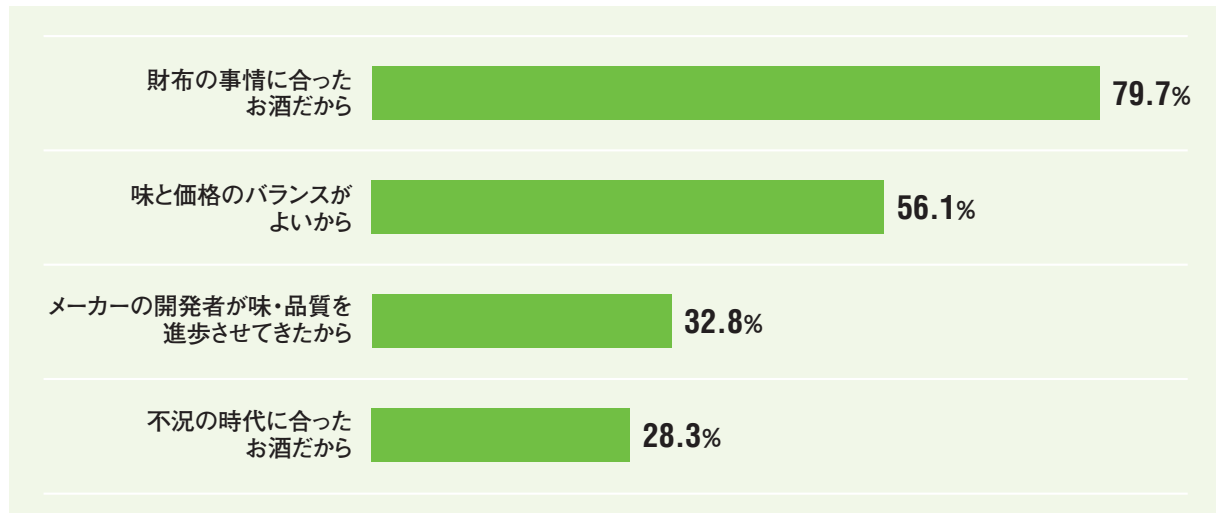
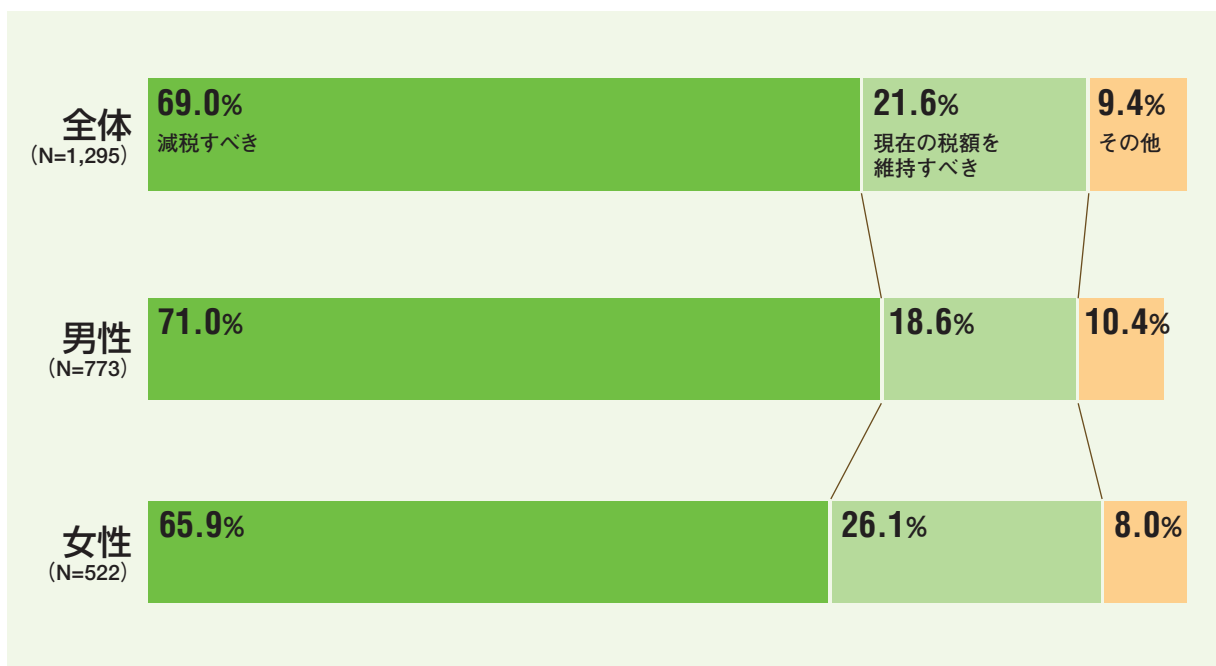


図8 発泡酒の税金はどうあるべきか

「発泡酒の税制を考える会」調べ

(2005年7月)





発泡酒は独立したジャンルの酒類

発泡酒は主として家庭で愛飲され、またビールでは難しい多様な商品の開発により、独立したジャンルとして消費者の支持を受けています。



発泡酒は庶民の酒として、主に家庭で広く愛飲されています。

(参照:図9)



発泡酒はビールとは異なり、原料の自由度が高く、製造各社は創意工夫して新たな商品を提案しています。

(参照:図10)



発泡酒は、平成6年に誕生し、今日に至るまでたゆまぬ研究開発、設備投資、マーケティング活動等、企業努力を行ってきた結果、品質も向上し、家庭で最も愛される酒となりました。

つきましては、この発泡酒が独立したジャンルの酒類として健全な成長を続けられるよう、減税を要望します。

図9 市場別飲用実態（平成16年年間）

「発泡酒の税制を考える会」調べ

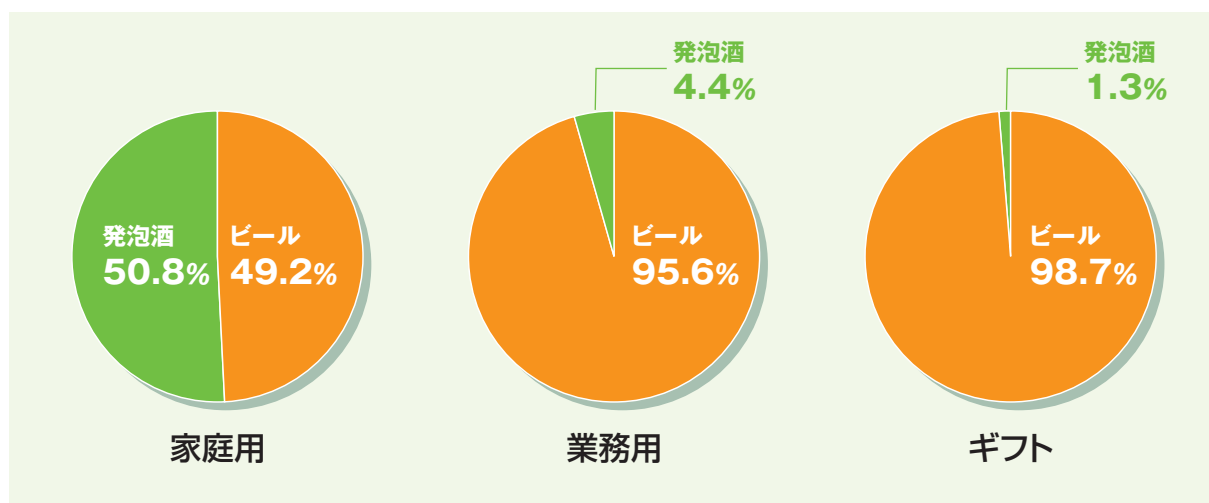


図10 製造各社の発泡酒開発の事例

	ブランド名	原料	特徴	
麒麟ビール	淡麗アルファ	麦芽・ホップ・大麦・糖類・酵母エキス・香料・カラメル色素	世界初の技術によりプリン体99%カットと糖質60%カット(当社比)を同時に実現した、口あたりのよい健康志向の発泡酒	
	淡麗グリーンラベル	麦芽・ホップ・大麦・糖類・酵母エキス	酵母をより生き生きと働かせることで、うまさと飲みやすさが調和しパランスのよい味覚を実現した糖質70%オフの発泡酒	
サッポロビール	北海道生搾り	麦芽・ホップ・大麦・糖類	北海道産麦芽使用・富良野産ホップ一部使用、爽やかなおいしさで人気の発泡酒、北海道生搾りの麦芽とホップを、すべて「協働契約栽培」に	
	スタールビー	麦芽・ホップ・米・コーン・スターチ・香料・アセロラ果汁・酸味料・赤キャベツ色素	透明感のある赤いビー色、爽やかな果実の香り、ほのかな甘みと酸味が特徴	
サントリー	マグナムドライ	麦芽・ホップ・大麦・糖化スターチ	麦芽を高温高圧蒸気加工(世界初)し「うまさ」と「ノドごしのキレ」を実現。高酸酵向の新型糖化スターチ採用で残糖分を抑え「後味のキレ」を実現	
	ダイエット生	麦芽・ホップ・大麦・糖化スターチ・酸味料・クエン酸・甘味料(アセスルファム・スクラロース)・苦味料	酵母の働きを高める栄養成分を凝縮した「酵母エキス」を発酵時に使用。カロリー50%カット・糖質70%カット・プリン体50%カット	
アサヒビール	本生	麦芽・ホップ・大麦・大麦エキス・米・コーン・スターチ・糖類	醸造工程で酵母をイキイキと働かせるためにミネラル分が豊富な海洋深層水を使用すると共に大麦エキスを使用し、キレの良さとしっかりした味わいが特徴	
	本生アクアブルー	麦芽・ホップ・大麦・大麦エキス・米・コーン・スターチ・糖類・海藻エキス	ミネラルや、アミノ酸などの旨味成分を含む海藻エキスを使用することにより、糖質50%オフでありながら「おいしい糖質オフ」の発泡酒を実現	
オリオンビール	麦職人	麦芽・ホップ・大麦・コーン・スターチ・糖類	麦芽と大麦の特性を最大限に生かし「スッキリとした飲みやすさ」と「豊かな飲みごたえ」を実現した発泡酒	
	鮮快生	麦芽・ホップ・大麦・コーン・スターチ・糖類	2種類の酵母特性がハーモナイズされた、苦味と発酵度をほどよく抑えた発泡酒。爽快でマイルドな味わいが特徴	

IV 消費者の皆様の声

CONSUMERS' VOICE

発

泡酒が大衆受けされ、味も研究されメーカーごとの個性が出て私は好きでした。でも、税金の増税でなぜか毎日飲むには高いなあという感はどうしてもします。本当に家庭で楽しむには安くて美味しいに越したことはなく、税金を軽くしてほしいと思います。

(女性・専業主婦・33歳)

一

一般庶民の毎日の楽しみから多額の税を期待すべきではない。

(男性・会社員・44歳)

消

費税導入前、ぜいたく品には高い税がかかっていたと思います。それを一律に消費税にしたのだから、ビールや発泡酒に高い税金をかけるのはおかしいと思います。あらゆる所で税金ばかりとられるようで勤労意欲までそがれるように思います。

(女性・専業主婦・36歳)

税

金を下げて価格をもう少し安くしてほしい。詳しく把握していませんが仮に二重課税(酒税がかかった上で消費税がかかっている)になっているようなら見直してほしい。

(男性・会社員・25歳)

税

金を抑えれば売上は伸びると思います。税金を高く取って売上を減少させたいか、税金を抑えて売上を伸ばしたいのか、どちらが消費者が喜ぶか考えれば答えはすぐに出ると思います。

(男性・会社員・45歳)

企

業の努力で技術開発による新しい商品が出るたびに税制を変えらるというのは全く企業の努力を無視している行動だと思う。こんなことを続けていたら企業がやがて諦めてしまうのではと懸念する。

(女性・専業主婦・36歳)

高

すぎます。嗜好品だから、という意見もありますがそれは経済的に余裕のある人が飲まない人だと思います。一日の疲れを癒すのが晩酌、という庶民のために酒税は下げてください。

(女性・専業主婦・56歳)

税

収不足を単に取りやすいところからとるという税制に対する考えで税金が決まっているように思う。税金全体の中で酒税のあるべき姿を探るべきだと思う。

(男性・会社員・52歳)

企

業努力で発泡酒を開発したのに、売れ出すと増税では企業も、消費者も納得できないと思う。

(女性・会社員・55歳)

取

りやすいところから税金を取るという現状に賛成できない。酒を飲む人が必ずしも裕福で余裕があるとは限らない。貧しくても酒を楽しみにしている人が沢山いることを忘れてほしくない。

(男性・公務員・54歳)

発泡酒の税制を考える会

ホームページ <http://www.happoshu.com>

